

第3学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想
野さいのたつ人になろう

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 単元終了後の子どもの姿 | 野菜作りの大変さを実感するとともに、野菜のおいしさに気付き、野菜作りに関わる人々の気持ちを考えて生活しようとしている。 また、野菜を食べることの良さに気付き、給食のフードロスを減らすために自分にできることを考えて実行したり、周りの人に発信したりしている。 | | |
| | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 単元の目標 | 野菜作りや給食のフードロス問題を解決する活動を通して、 野菜作りの大変さや喜び、食に関わる人々の思いやフードロス問題に気付き、 フードロスを解決する方法を自分自身や学校給食との関わりで考えるとともに、 学んだことを野菜の栽培や食生活に生かすことができるようにする。 | | |
| 目標に向かうための手立て | ○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 「おいしい野菜をたくさん収穫したい」「給食を残さないでほしい」などの思いや願いと、そうでない状況やできなかった現実とのずれに気付くことで問いを生み出し、課題を自分事として考え、めあてにつながるようにする。 【振り返り】 タブレットを活用して写真や記録を残していくとともに、分かったこと、分からなかったこと、次にしたいこと等の視点を提示することで、どんな体験をし、どんな気付きがあつて、どのような思いが生まれたのか等を振り返ることができるようにする。 【対話】 課題が共通の子供同士を同じグループにしたり、思考ツールを活用して自分の考えが可視化できるようにしたりすることで、他者と自分の思いや考えのずれを明らかにしながら対話ができるようにする。 | | |
| 子どもの実態30人 | ①生活科で野菜作りの経験はあり、大変さには少し気付いているが、食に関わる人々の思いまでは気付いていない。 ②インタビューやアンケートの経験がまだ少なく、相手や場面に応じた言葉遣い等、難しい児童も多い。 ③一つ一つの学びが、探究的に学習してきたことの成果であると気付くには至っていない。 | ①身の回りの問題について、自分事として捉え、解決しようとするところまではいかないが、課題意識をもつことはできてきている。 ②どんな情報が必要か考えること、情報収集の方法については、アドバイスを必要とする児童が多い。 ③収集した情報を整理・分析するために、様々な思考ツールを使う体験を重ねているところである。 ④伝える相手や目的に応じたまとめ・表現とするためには、アドバイスを必要とする児童が多い。 | ①自分の考えをまとめる際に、友達の意見を取り入れて記述しようとする児童が増えてきている。 ②友達と協力しながら活動に取り組むことができるが、自分から意欲的に活動することについては、個人差がある。 ③学んだことを実生活に生かそうという意識は感じられるが、実際の行動とつながっていないことも多い。 |

| 単元の評価規準 | | |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①野菜作りの大変さや喜び、食に関わる人々の思い、フードロス問題の現状や解決方法に気付いている。 【概念的な知識】 ②相手や場面に応じた言葉遣いや態度、方法でインタビューやアンケートなどを行っている。 【技能】 ③たくさんの学びがあったことは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。 【探究的な学習のよさの理解】 | ①野菜作りやフードロス問題についての課題解決に向けて、見通しをもって計画を立てている。 【課題の設定】 ②野菜作りやフードロス問題解決に必要な情報に応じて、調査する内容や方法を決めている。 【情報の収集】 ③課題の解決のために収集した情報を、比較したり関連付けたりしながら整理している。 【整理・分析】 ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 【まとめ・表現】 | ①いろいろな人に聞いたこと、調べたことを参考にしようとしている。 【自己理解・他者理解】 ②自他の考えを生かしながら、友達と協働して課題解決に取り組もうとしている。 【主体性・協働性】 ③野菜作りに取り組んだ経験を踏まえ、フードロス問題解決のためにできることを考え行動している。 【将来展望・社会参画】 |

指導と評価の計画 (70 時間取り扱い ●本時 56/70)

| 課題等 | 過程 | 小単元1 夏野菜を育てよう 20 | 小単元2 冬野菜を育てよう 20 | 小単元3 フードロスを解決しよう 30 |
|-----------------------------------|--------|--|--|---|
| ○野菜の達人になって、 ○小の給食のフードロスを解決しよう。 | 課題の設定 | ○課題を設定する。 「夏野菜を育ててみよう！」 | ○課題を設定する。 「冬野菜を育ててリベンジ！」 「冬野菜を使った料理をみんなで食べたいね」 | ○給食のフードロス問題について知る 【思】①発言、学習シート 「○○小では、給食の残菜に野菜が多いそうだよ」 「それは何とかしなきゃ！」 |
| | 情報の収集 | ○野菜の育て方を調べる。 「どんな野菜が夏野菜？」 「種から？苗から？」 「どこに植える？」 【主】①発言、学習シート | ○冬野菜を使ったおいしい料理を調べる。 「家で聞いてくるね」 「給食の先生に教えてもらおう」 【知】②発言、学習シート | ○残菜について調べる。 「残されてるのはどんな野菜？」 「残す理由は何？」 「どうしたら残さなくなる？」 【思】②発言、学習シート |
| | 整理・分析 | ○収集した情報を整理・分析して、野菜を育てる。 「水やりが大事そうだよ」 「つるがのびたら、支柱が必要だね」 【主】②発言、学習シート | ○収集した情報を整理・分析して、食べ方を考える。 「おでんにしたらいいかも」 「野菜それぞれの味も味わってみたいね」 【思】③発言、学習シート | ●収集した情報を整理・分析して、誰にどんなことを伝えればいいのか考える。 「栄養があることや作り手の思いも伝えなきゃ」 【知】①発言、学習シート 【主】③発言、学習シート |
| | まとめ・表現 | ○夏野菜を育てて気付いたことをまとめる。 「もっとたくさん収穫できると思ったのに・・・」 「野菜作りって大変」 | ○冬野菜を育ててみて、食べてみて気付いたことをまとめる。 「野菜を育てるのって大変だったけど、収穫できて嬉しいな」 「野菜っておいしいね」 | ○フードロス問題解決のために、情報を発信する。 「学校の人みんなに伝えよう」 「低学年の子にも分かるには、どうしたらいいかな」 【知】④発言、学習シート【思】④発言、学習シート |

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

集めた情報を整理・分析したり、伝えたい相手や伝えたい内容を考えたりすることができる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 | ○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応 | ○教師の支援 ◎評価 | 備考 ・ ICT 機器等 |
|----|----|---------------------------|--|--|---------------------|
| 導入 | 5 | 1 本時のめあてを考える。 | ○どこまで進んでいますか。 ・残菜調査や「残す理由アンケート」が終わったから、その内容を確認しないとイケないね。 | ○前時までの活動を振り返ることで、本時のめあてを引き出す。 | 電子黒板 タブレット 端末 |
| | | | あつめたじょうほうを、せいりしたり分せきしたりしよう | | |
| 展開 | 20 | 2 集めた情報を整理したり分析したりする。 | ○集めた情報から、どんなことが分かるか整理・分析しよう。 ・残菜調査の結果、一番よく残されているのは○○だけど、他はどんな順番だろう。円グラフにすると分かるかな。 ・残す理由はいろいろで多いな。どうすれば分類できるかな。 | ○これまで学習したことのあるグラフや思考ツールを掲示しておくことで、整理・分析する際のヒントとなるようにする。 ◎【主】③野菜作りの経験を踏まえ、フードロス問題解決のためにできることを考え行動している。 | グラフ 思考ツール |
| | 15 | 3 分析結果を聞き、この後どうしたらいいか考える。 | ○分析結果を聞いて、この後どうしたらいいか考えよう。 ・低学年の残菜が多いから、低学年に野菜の栄養を伝えたら残菜が減るんじゃないかな。 | | |
| 終末 | 5 | 5 本時の学習を振り返る。 | ○今日の学習を振り返ろう。 ・次は、野菜の栄養について調べないとイケないな。 ・低学年に伝えるには、言葉も簡単にする必要があるかも。 | ○今できていること、次にしなければならないこと等の視点を提示することで、自分の学習状況について振り返ることができるようになる。 | 振り返りシート |

総合的な学習の時間

第3学年

ポイント

単元(題材)の構想
野菜ははかせになる

単元(題材)終了後の児童の姿

本単元での学習を生かした、子どもたちの
日常(将来)の姿を具体的に書く。

ポイント

単元の目標

「活動」「知識及び技能」「思考力, 判断力, 表現力等」「学びに向かう力, 人間性等」の順に1文にし、大括りな目標を書く。

野菜作りの大変さを実感するとともに、野菜の美味しさに気付き、野菜作りに関わる人々の気持ちを考えて生活しようとしている。
また、野菜を食べることの良さに気付き、給食のフードロスを減らすために自分にできることを考えて実行したり、周りの人に発信したりしている。

野菜作りや給食のフードロス問題を解決する活動を通して、野菜作りの大変さや喜び、食に関わる人々の思いやフードロス問題に気付き、フードロスを解決する方法を自分自身や学校給食との関わりで考えるときに、
学んだことを野菜の栽培や食生活に生かすことができるようにする。

指導と評価の計画 (70時間取り扱い 本時 56/70)

| 単元(題材)の構想 | 小単元1 夏野菜を育てよう 20分 | 小単元2 冬野菜を育てよう 20分 | 小単元3 フードロスを解決しよう 30分 |
|-----------|---|--|--|
| 課題の設定 | ○課題を設定する。 「夏野菜を育ててみよう！」 | ○課題を設定する。 「冬野菜を育ててみよう！」 「冬野菜を使った料理をみんなで食べたいね」 | ○給食のフードロス問題について知る。 「〇〇小では、給食の野菜に野菜が多いそうだよ」 「それは何かしなきゃ！」 |
| 情報の収集 | ○野菜の育て方を調べる。 「どんな野菜が夏野菜？」 「種から？苗から？」 「どこに植える？」 | ○冬野菜を使ったおいしい料理を調べる。 「家で聞いてくるね」 「給食の先生に教えてもらおう」 | ○減量について調べる。 「減らされてるのはどんな野菜？」 「減す理由は何？」 「どうしたら減さなくなる？」 |
| 整理・分析 | ○収集した情報を整理・分析して、野菜を育てる。 「水やりが大事そうだよ」 「つるがのびたら、支柱が必要だね」 | ○収集した情報を整理・分析して、食べ方を考える。 「おでんにしたらいいかも」 「野菜それぞれの味も味わってみたいね」 | ○収集した情報を整理・分析して、誰にどんなことを伝えたいかを考える。 「栄養があることや作り手の思いも伝えなきゃ」 |
| まとめ・表現 | ○夏野菜を育てて気付いたことをまとめ、 「もっとたくさん収穫できると思ってたために・・・」 「野菜作りが大変」 | ○冬野菜を育ててみて、食べてみて気付いたことをまとめ、 「野菜を育てるのって大変だったけど、収穫できて嬉しいな」 「野菜っておいしいね」 | ○フードロス問題解決のために、情報を発信する。 「学校のみんなに伝えよう」 「低学年の子にも分かるには、どうしたらいいかな」 |

ポイント

指導と評価の計画

- 子どもたちの思考の流れを予想して、単元を構想する。
- 評価規準の姿を最も見取ることができる活動のところに、評価規準の種類と番号を書く。

児童(生徒)の実態

| | | |
|--|---|--|
| ①生活科で野菜作りの経験があり、大変さには少し気付いているが、食に関わる人々の思いまでは気付いていない。 | ①身の回りの問題について、自分事として捉え、解決しようとするところまでとはいかないが、課題意識をもつことはできている。 | ①自分の考えをまとめる際に、友達の見え取りを入れて記述する児童が増えてきている。 |
| ②インタビューやアンケートの経験がまだ少なく、相手や場面に応じた言葉遣い等、離れ児童も多い。 | ②どんな情報が必要か考えること、情報収集の方法についてはアドバイスを必要とする児童が多い。 | ②友達と協力しながら活動することができるが、目的に活動することについては個人差がある。 |
| ③一つ一つの学びが、探求的に学習してきたことの結果であると気付くには至っていない。 | ③収集した情報を整理・分析するために、様々な思考ツールを使う体験を重ねているところである。 | ③学んだことを食生活に生かそうという意識は感じられるが、実際の行動とつながっていないことも多い。 |
| | ④伝える相手や目的に応じて、まとめ・表現とするためには、アドバイスを必要とする児童が多い。 | |

ポイント

児童の実態(「単元(題材)の評価規準」と呼称させる)
単元の目標とする姿(評価規準)と照らし合わせて、子どもたちはどんな実態なのかを書く。

単元(題材)の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①野菜作りの大変さや喜び、食に関わる人々の思い、フードロス問題の現状や解決方法に気付いている。 【概念的な知識】 ②相手や場面に応じた言葉遣いや態度、方法でインタビューやアンケートなどを行っている。【技能】 ③たくさんの学びがあったことは、探求的に学習してきたことの結果であると気付いている。 【探求的な学習のよさの理解】 | ①野菜作りやフードロス問題についての課題解決に向けて、見通しをもって計画を立てている。【課題の設定】 ②野菜作りやフードロス問題解決に必要な情報に応じて、調査する内容や方法を決めていく。【情報の収集】 ③課題の解決のために収集した情報を、比較したり関連付けたりしながら整理している。【整理・分析】 ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。【まとめ・表現】 | ①いろいろな人に関わったこと、調べたことを参考にしようとしている。【自己理解・他者理解】 ②自他の考えを生かしながら、友達と協働して課題解決に取り組もうとしている。【主体性・協働性】 ③野菜作りに取り組んだ経験を踏まえ、フードロス問題解決のためにできることを考え行動している。【将来展望・社会参画】 |

ポイント

単元(題材)の評価規準

- 単元の目標の内容を、3つの資質・能力、10の要素に分けて考え、具体的な子どもの姿で書く。
- 知①と主③は探究課題によって大きく変わるので、特にしっかり考える。
- 文末は「…している」にする。